



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月12日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
 コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 (氏名) 重清 安雄 TEL 03-6911-0550
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,486	1.8	174	60.3	167	47.8	81	△5.8
28年3月期第1四半期	4,405	6.1	108	△54.8	113	△52.4	86	-

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 32百万円 (△67.6%) 28年3月期第1四半期 98百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	0.58	-
28年3月期第1四半期	0.62	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第1四半期	5,915	4,027	66.1	27.91
28年3月期	6,050	4,135	66.2	28.58

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 3,912百万円 28年3月期 4,007百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	-	0.00	-	1.00	1.00
29年3月期	-	-	-	-	-
29年3月期（予想）	-	0.00	-	1.00	1.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,283	3.0	472	22.5	495	31.0	349	20.6	2.50
通期	18,881	4.0	996	23.0	1,040	27.5	769	25.5	5.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	151,451,750株	28年3月期	151,451,750株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	11,244,049株	28年3月期	11,244,049株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	140,207,701株	28年3月期1Q	140,208,233株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績を背景に雇用や所得環境の改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移したものの、為替や株価の不安定な動きにより景気の下振れリスクが高まっており先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、お客様の利便性等を追求することで購買機会の増加・シェアの拡大を図ってまいりました。今後におきましては、シェアの拡大によるスケールメリットを発揮することで原価や各種コストの見直しを図り、利益の確保に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,486百万円（前年同四半期比 1.8%増）、営業利益174百万円（前年同四半期比 60.3%増）、経常利益167百万円（前年同四半期比 47.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、81百万円（前年同四半期比 5.8%減）となりました。

主な事業別の状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容	
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産の賃貸	
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸出入、食肉及び食肉加工品の販売	
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス)	高齢者介護施設等における給食の提供	
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営	
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営	
そ の 他	(サーバントラスト信託株式会社)	信託商品の販売
	(アスモ少額短期保険株式会社)	保険商品の販売
	(ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、人手・車両不足を背景にした物流費の上昇や販売競争の激化により、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような中、当事業では期初の計画において基本方針を「売上高の追求」から「内容重視の利益追求」に改定し、収益の改善に取り組みました。

具体的には、これまで拡販に取り組んできたメキシコ産牛肉について、品質面では豪州産牛肉、価格面では米国内産牛肉との差別化を図り、安定した顧客基盤の維持に努めた結果、利益の確保に繋がりました。

さらには、グループ内でのシナジー効果を目的として、高齢者向けの加工製品開発を推し進め、当第1四半期連結累計期間に新製品を投入したことにより、業績の向上に寄与いたしました。

通信販売におきましても、従来取り扱っていた銘柄牛やローストビーフ・ローストポークのほか、新たに牛タンの取り扱いも開始し、お客様にご好評をいただいております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、706百万円（前年同四半期比2.5%減）セグメント利益（営業利益）は、16百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）となりました。

今後におきましても、販路の拡大と一般消費者ニーズに合った製品の提案強化に努めてまいります。

また、今後当事業の核となる「国内外を問わず、広く生産者から原料を仕入れ、外注加工工場で加工を行い、グループ内をはじめ、広く販売の横展開を図る」べく、外注加工工場や販売先の開拓を進めることで、グループ全体の利益に貢献してまいります。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業では、高齢者介護施設以外から幅広い分野においても受注先を増加させるとともに、収益向上のための不採算受託施設の契約解除を並行して行ったことにより、当第1四半期連結会計期間末時点における受託施設数は295施設（前年同四半期末は291施設）となっております。

また、洋菓子講習会、新卒研修会、料理コンテスト等を積極的に行い、従業員個々の知識・技術を高め、様々なニーズに対応出来る人材育成を行いました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,907百万円（前年同四半期比5.5%増）、セグメント利益（営業利益）は、97百万円（前年同四半期比13.0%増）となりました。

今後は、全事業所へタブレット端末を導入し勤怠システム及び販売管理システムもタブレット端末で行うことで、通信費の削減やペーパーレス化による業務の効率化を行うとともに、従業員の就労環境の整備を図りサービスの質の向上及び収益確保に努めてまいります。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所および有料老人ホーム運営事業を営んでおり、当第1四半期連結累計期間につきましては、2015年4月の介護保険法の改正による介護報酬大幅減、恒常的な人手不足に伴う人件費の上昇など、足元・先行きとも非常に厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、ご利用いただける機会を増やすことを目的に積極的に事業所の開設を進めてまいりましたことにより、当第1四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所38事業所（前年同四半期末は37事業所）、居宅支援事業所12事業所（前年同四半期末は12事業所）となり、支援させていただいておりますご契約者様は、1,678名（前年同四半期末は1,642名）となりました。また、新たな事業として開始した有料老人ホーム運営事業も3施設となり、介護業界への関わりを深め知名度向上に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,171百万円（前年同四半期比3.1%増）、セグメント利益（営業利益）は、110百万円（前年同四半期比50.4%増）となりました。

今後とも積極的に事業所の開設を進めていくとともに、介護人材育成を最重要課題の一つと認識し注力実践していくことで、より良い人材の確保と定着率向上に努め、介護サービスの質の向上を図ってまいります。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

昨年からの景気の停滞が継続していることもあり、レストラン店舗を中心に苦戦しております。

山頭火沙田店および山頭火チュン湾店は退店し、秋桜屋半山店においても8月末に退店予定です。

香港の景況感にあまり明るい見通しが無い現状では不採算店舗の撤退がやむを得ないことであり、撤退時の撤去工事費用など短期的に収益を圧迫しますが、第2四半期以降においては、残る既存事業において赤字店舗を無くすために各店におけるメニューの見直し、販促の実施など積極的に取り組み業績回復を目指してまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、517百万円（前年同四半期比6.6%減）、セグメント損失（営業損失）は、1百万円（前年同四半期はセグメント利益2百万円）となりました。

⑤ その他の事業

a. サーバントラスト信託株式会社

その他セグメントに含めておりますサーバントラスト信託株式会社は、管理型信託事業を営んでおり、信託事業では、「特定贈与信託」「ペット飼育費保全信託」「老い支度サポート信託（遺言代用信託を含む）」「不動産管理信託」などの個人向け信託商品のほか、「葬儀費用管理信託」「顧客分別金管理信託」「不動産証券化信託」「エスクロー信託」などの法人向けの信託商品の販売に努めました。従前からの継続的な営業活動による成果が着実に積み上がり、個人との信託契約件数も徐々に増えてまいりました。

引き続き、積極的な営業活動を行っていくとともに、グループ主要事業である介護事業とのシナジーを図りながら、新規信託契約の獲得ならびに売上増加に努めてまいります。

b. アスモ少額短期保険株式会社

その他セグメントに含めておりますアスモ少額短期保険株式会社は、少額短期保険事業を展開しており、生命保険商品3種類（生命定期保険、入院保障付生命定期保険、無選択型生命保険）と損害保険商品（高齢者施設入居者家財保険）を販売しています。

また、昨年より販売を開始いたしました高齢者施設入居者家財保険「転ばぬ先の杖」は大手有料老人ホームのほか、中小の老人ホームの代理店登録が完了し、新規入居者を中心に販売が進んでいます。現時点での保険金支払も予定の範囲内であり、当社の新たな収益源として成長させていきます。

c. ASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITED

その他セグメントに含めておりますASMO CATERING(TAIWAN)COMPANY LIMITEDは、平成28年3月より台北市のそごう天母店にある『日本料理 今助』の他に、そごう復興店のフードコートでは、井と弁当のショップ『彩井屋』、新竹BIGCITY店のフードコートにおいては、香港のブランドである『神戸 北の坂』をオープンし、レストラン1店舗、フードコートショップ2店舗の体制となっております。

新たに outlets した店舗においては、両店とも以前の店舗からの切り替えでの outlet であり認知されるまでには多少の時間が必要ですが、オープン以降売上高においては上昇傾向にあります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、182百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント損失（営業損失）は、0百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は5,915百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円減少いたしました。これは主に流動資産「その他」に含まれている再保険貸42百万円および繰延税金資産84百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は1,887百万円となり、前連結会計年度末に比べ27百万円減少いたしました。これは主に短期借入金50百万円、未払金が61百万円、固定負債「その他」に含まれているリース債務36百万円が増加しましたが、未払法人税等が110百万円、賞与引当金が104百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,027百万円となり、前連結会計年度末に比べ108百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金の減少58百万円および為替換算調整勘定40百万円の減少等によるものであります。

この結果、自己資本比率は66.1%（前連結会計年度末は66.2%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日「平成28年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)
法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。
なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額ははありません。
- (4) 追加情報
(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)
「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,248,617	2,167,942
受取手形及び売掛金	1,850,959	1,873,589
商品	273,705	278,590
貯蔵品	13,586	16,653
その他	498,563	385,096
貸倒引当金	△1,842	△1,669
流動資産合計	4,883,590	4,720,203
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	305,033	257,995
有形固定資産合計	305,033	257,995
無形固定資産		
のれん	54,623	49,657
その他	15,030	56,303
無形固定資産合計	69,654	105,961
投資その他の資産		
その他	1,107,243	1,145,457
貸倒引当金	△314,539	△314,509
投資その他の資産合計	792,703	830,947
固定資産合計	1,167,391	1,194,904
資産合計	6,050,981	5,915,107

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	478,944	494,544
短期借入金	—	50,000
未払金	597,578	659,385
未払法人税等	124,576	13,736
賞与引当金	205,730	100,988
その他	366,776	384,909
流動負債合計	1,773,606	1,703,564
固定負債		
退職給付に係る負債	125,927	132,242
その他	15,512	51,566
固定負債合計	141,439	183,808
負債合計	1,915,046	1,887,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	1,620,715	1,562,006
自己株式	△42,448	△42,448
株主資本合計	3,901,539	3,842,830
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△87	225
為替換算調整勘定	124,216	83,358
退職給付に係る調整累計額	△18,332	△13,749
その他の包括利益累計額合計	105,796	69,833
非支配株主持分	128,599	115,071
純資産合計	4,135,935	4,027,735
負債純資産合計	6,050,981	5,915,107

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,405,770	4,486,108
売上原価	3,432,327	3,451,786
売上総利益	973,442	1,034,322
販売費及び一般管理費	864,829	860,215
営業利益	108,613	174,106
営業外収益		
受取利息	865	1,259
為替差益	2,889	—
助成金収入	1,925	1,600
その他	737	774
営業外収益合計	6,417	3,633
営業外費用		
支払利息	44	258
為替差損	—	9,510
貸倒引当金繰入額	637	△30
その他	737	115
営業外費用合計	1,419	9,855
経常利益	113,610	167,885
特別損失		
固定資産除却損	2,807	0
訴訟損失引当金繰入額	8,479	—
その他	594	—
特別損失合計	11,881	0
税金等調整前四半期純利益	101,728	167,885
法人税、住民税及び事業税	15,196	4,754
法人税等調整額	△1,689	84,289
法人税等合計	13,506	89,043
四半期純利益	88,222	78,841
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1,683	△2,656
親会社株主に帰属する四半期純利益	86,538	81,498

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)
四半期純利益	88,222	78,841
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	38	312
為替換算調整勘定	12,357	△51,729
退職給付に係る調整額	△1,821	4,583
その他の包括利益合計	10,574	△46,833
四半期包括利益	98,797	32,008
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,457	45,536
非支配株主に係る四半期包括利益	4,340	△13,528

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK)事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	1,275	724,309	1,809,144	1,136,583	553,444	4,224,758	181,012
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,092	17,934	—	—	28,027	—
計	1,275	734,402	1,827,079	1,136,583	553,444	4,252,785	181,012
セグメント利益又は損 失(△)	△37,622	△12,979	86,090	73,677	2,552	111,718	△2,672

(単位:千円)

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	4,405,770	—	4,405,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	28,027	△28,027	—
計	4,433,798	△28,027	4,405,770
セグメント利益又は損 失(△)	109,045	△432	108,613

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	111,718
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△2,672
セグメント間取引消去	△432
四半期連結損益計算書の営業利益	108,613

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK)事業	計	
売上高							
外部顧客への売上高	1,275	706,169	1,907,788	1,171,518	517,148	4,303,899	182,209
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	17,887	25,951	—	—	43,839	—
計	1,275	724,057	1,933,740	1,171,518	517,148	4,347,738	182,209
セグメント利益又は損 失(△)	△47,992	16,802	97,276	110,838	△1,890	175,034	△614

(単位:千円)

	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高			
外部顧客への売上高	4,486,108	—	4,486,108
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43,839	△43,839	—
計	4,529,948	△43,839	4,486,108
セグメント利益又は損 失(△)	174,420	△314	174,106

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	175,034
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△614
セグメント間取引消去	△314
四半期連結損益計算書の営業利益	174,106

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。